

雪あそび

年中

2026年2月



雪の降った翌日、園庭は雪景色に包まれました。

急なお願いだったにも関わらず、着替えの準備をしていただき、ありがとうございました。

お家の方のご協力のおかげで、子ども達は雪遊びを思い切り楽しむことができました。

子ども達は、寒さも気にせず、目の前の雪に大興奮！

雪玉を作って雪合戦をする子もいれば、

野球選手のように遠くを目掛けて投球する子もいました。

地面にコロコロと雪を転がして、雪だるまを作る姿も見られました。

滑り台の下の日陰には、大きな氷の塊があったので、じっくり観察したり、

削って斧を作ろうとしたりしていました。それぞれが、思い思いに雪の感触を楽しみました。



手袋を忘れたお友達がいました。

すると、その様子を見ていた子が「2セットあるから貸してあげようか？」と声を掛けてくれたのです。

「えーいいの？」「うん！いいんだ！お母さんが忘れた子がいたら貸してあげなさいって言ってたから！」とすぐに走ってもう一双手袋を取りに行き、快く差し出してくれました。

貸してもらったお友達は、心からの「ありがとう」が自然と出ていました。

使い始める直前に、急いでお家の方が手袋を届けに来てくださり、間に合いました。



困ったお友達に気が付き、貸そうとしてくれたお友達、感謝の気持ちを持って素直にお友達を頼れるお友達、どちらも素敵で♡心♡が温まりました。

また、広い心で手袋を差し出す優しさを伝えた、お家の方の一言があってこそその思いやりが光る一場面でした。ありがとうございました。

